

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	立教ゼミナール発展編 1 新座(Niiza) (Seminars for Senior Students of Rikkyo University 1)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	学びを通じた地域創生の超学際的アプローチ ～ひとづくり×地域づくり×自分＝素敵な未来～		
担当者名 (Instructor)	辻 英之(TSUJI HIDEYUKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP3140	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016 年度以降 1 年次入学者対象科目 定員 30 名		

授業の目標 (Course Objectives)

地域社会の「学び」と「経営」を多面的に考察し、その核となるものを丁寧に抽出することを通して、「ひとづくり」と「地域づくり」が相乗的に質を深めていく論拠を探る。

Students will consider "learning" and "management" in local communities from multiple perspectives, and explore the rationale in which "people development" and "community development" deepen the quality synergistically, through careful extraction of the core concepts.

授業の内容 (Course Contents)

近年、急速な人口減少が迫る中、観光開発・企業誘致などの従来型の地域づくりではなく、教育・福祉を軸とした地域づくりが進められ、その成果が報告されている。本講義では、実践家を中心とする多彩なゲスト講師から最先端の実践とその考察を講じていただく。

また、科目担当者が 30 年の実践から導き出されたアクティブラーニング型の授業運営スタイル:ダイアログ(対話)を活用した学び合いを駆使することにより、ゼミ形式における学びを深める。

なお、科目担当者は、国道も信号もコンビニもない長野県泰阜村(やすおかむら)において地域創生に顕著な成果を上げている NPO の代表理事である。

In recent years, with rapid population decline approaching, community development centering on education and welfare has been promoted rather than traditional community development such as tourism development and attracting businesses, and the results of this approach have been reported. In this course, students will learn the most advanced practice and its consideration from a variety of guest instructors who are mainly practitioners.

In addition, the course lecturer will deepen learning in a seminar format by making full use of study that utilizes an active learning type class style: dialog, derived from 30 years of practice.

In addition, the course lecturer is a representative director of an NPO that has achieved remarkable results in community creation in Yasuoka-mura, Nagano Prefecture, which has neither national roads nor traffic lights nor a convenience store.

授業計画 (Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 学び方の導入
3. ダイアログの準備ワーク1
4. 安心安全の農的ライフサイクル(ゲスト:福島県の農的 NPO)
5. 離島の地域づくり×フリースクール(ゲスト:島おこし実践者)
6. 都市部の中間支援 NPO とは(ゲスト:中間支援 NPO 担当者)
7. 本質的な学校づくりへの挑戦(ゲスト:軽井沢の学校理事長)
8. 中間まとめ
9. 女性が起業するとは?(ゲスト:女性起業家)
10. 空き家活用と人材育成(ゲスト:まちづくり NPO 事務局長)
11. 世界自然遺産とサステナブルツーリズム(ゲスト:沖縄やんばる NPO)
12. 学びのシェア
13. 全体ダイアログワーク
14. 総括とまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

準備学習等の指示は、必要に応じて授業内あるいは Blackboard 上で行う。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

各回の授業後に提出するコメントペーパー(40%)/プレゼンなど授業内の成果物(30%) / 最終レポート(Final Report)(30%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

授業時に紹介する。

その他(HP 等) (Others(e.g. HP))

科目担当者は泰阜村で実際に活動する上記 NPO の代表理事である。毎週毎週、信州の山村から片道 5 時間(!)かけて大学に通う。ゲストは現段階の予定なので、開講してから変更の可能性がある。

ダイアログ主体の授業を貫くルールは、「参画」と「自己決定」。自分で考えて、自分で動いて参加すればするほど、楽しくなり、学びが大きくなる授業。持ってくるものは「やる気」。

担当者所属 NPO の URL <http://www.greenwood.or.jp>

注意事項(Notice)

本科目は、担当教員の実務経験、または実務に従事するゲスト・スピーカーの招聘講義等を活かした授業である。